



Nomura Research Institute Group

## NEWS RELEASE

2021年3月25日

NRI セキュアテクノロジーズ株式会社

# NRI セキュア、「コンテナ」を安全に利用するための セキュリティ評価サービスを提供開始

～コンテナのセキュリティレベルの評価から、対策の実行までを支援～

NRI セキュアテクノロジーズ株式会社（本社：東京都千代田区、社長：小田島 潤、以下「NRI セキュア」）は、コンピュータ上でアプリケーション実行環境を仮想化する「コンテナ」<sup>1</sup>を、企業が安全に利用できるよう、そのセキュリティ水準に関する評価項目を網羅した標準化フレームワーク「NRI Secure Framework for Container（以下「NSF for Container」）」を策定しました。このNSF for Container をもとにして、コンテナのセキュリティレベルを評価し、必要な対策の立案・実行までを支援する「コンテナセキュリティ評価サービス（以下「本サービス」）」の提供を、本日開始します。

### ■ DevOps 基盤として需要が高まるコンテナと、セキュリティ対策の重要性

変化の激しいビジネス環境や顧客のニーズに、企業が柔軟に対応するため、迅速なシステム開発と安定的な運用を両立する手法として、「DevOps」を導入したり、そのDevOpsに対応できるシステム基盤としてコンテナを採用したりする動きが広がっています。

一方で、セキュリティ対策が適切に整備されていないケースも多く、コンテナを導入したシステム環境のセキュリティホールに端を発した、情報漏えいなどのインシデント（事故・事案）も数多く発生しています。コンテナを適切に導入・運用するためには、自社の利用環境とコンテナの特性を踏まえたうえで、コンテナそのものとコンテナの利用環境全体について、セキュリティチェックや対策を行う必要があります。

### ■ 本サービスの概要と特長

NSF for Container は、情報セキュリティに関する国内外の諸機関が定めるセキュリティ対策基準や、最新のサイバー脅威の動向を踏まえつつ、コンテナのセキュリティにまつわるあらゆる知見・ノウハウを集

約して体系化し、コンテナに対する総合的な評価項目としてまとめたものです。企業で既に利用されているコンテナや、新規に導入を検討しているコンテナを対象に、NRI セキュアの専門家が NSF for Container に沿って、以下のようなプロセスで評価および対策の実行支援を行います。

## 1. コンテナのセキュリティ評価や対策の策定を支援

コンテナの利用時に実施すべきセキュリティ対策を、網羅的に評価・分析することで、対象システムにおけるセキュリティレベルや運用の状況を可視化します。例えば、安全な CI/CD（継続的インテグレーション/継続的デリバリー）<sup>2</sup>パイプラインの構築やコンテナイメージ<sup>3</sup>の管理、さらにはコンテナの管理を自動化するオーケストレーションツール<sup>4</sup>の設定等、コンテナとその利用に関するセキュリティ対策状況を正確に把握します。評価の結果、対策が不足している箇所や改善が必要な箇所に対して、セキュリティ対策の立案や対応ロードマップの策定を支援します。

## 2. コンテナにおけるセキュリティ対策実行支援

上記1において立案した対策やロードマップについて、その実行に向けた支援を行います。お客様の要望や課題に応じて、コンサルテーションや、最適なセキュリティソリューションの選定・提案など、解決策の提案から対策完了まで一気通貫で支援します。

なお、情報システムや組織、インシデント対応態勢などの評価を目的とした、NRI セキュアのフレームワーク「NRI Secure Framework (NSF)」と本サービスを組み合わせることで、コンテナ領域のみならず、お客様のセキュリティ対策状況全体を可視化し、対策の実行支援を実施することも可能です。

NRI セキュアは、今後も、企業・組織の情報セキュリティ対策を支援するさまざまな製品・サービスを提供し、グローバルな規模で安全な情報システム環境と社会の実現に貢献していきます。

---

<sup>1</sup> コンテナ：

より少ないコンピュータリソースで仮想化を実現するために、OS 上に構築されたアプリケーション実行環境を指します。

<sup>2</sup> CI/CD（継続的インテグレーション/継続的デリバリー）：

アプリケーションのリリース頻度を高めるために、CI（Continuous Integration）は、ビルドやテストを自動化する手法のことで、CD（Continuous Delivery）はデプロイ（運用環境への配置）からリリース準備までの作業を自動化する手法を指します。CI/CD に係る一連の作業プロセスを、CI/CD パイプラインと呼びます。

<sup>3</sup> コンテナイメージ：

アプリケーションと依存関係のあるすべてのソフトウェアをパッケージング化したものを指します。

<sup>4</sup> オーケストレーションツール：

コンテナのデプロイやスケール（拡張）などを、自動的に行うことができるツールのことです。代表的なツールとして、オープンソースの Kubernetes（クーベネティス）があります。

**【ニュースリリースに関するお問い合わせ先】**

NRI セキュアテクノロジーズ株式会社 広報担当

TEL : 03-6706-0622 E-mail : info@nri-secure.co.jp

**【ご参考】**

図 1：セキュリティ対策評価の流れ



図 2：対策優先度の設定

		優先度 【凡例】		
		S	A	B
顕在率	高	B	A	S
	中	C	B	A
	低	D	C	B
		小	中	大
		影響度		

  

優先度	【凡例】
S	即着手すべき対策
A	対応すべき対策
B	対応を推奨する対策
C	システム更改時などに 対応を推奨する対策
D	リスク受容 (未実施) でも可

※推奨する対策について、セキュリティリスクの影響度と顕在率（発生可能性）に基づき、優先度をつけて提示します。